

組織目標評価報告書（令和6年度）

部局名： **腸健康科学研究センター**

部局長名： **成瀬 恵治**

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
<b>②研究領域</b>	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	①今年度新設のセンターであることから、センターとしての研究体制を構築するため、各ユニットでの研究を進めつつ、総括研究管理部門を中心として各ユニットの連携を図る。 ②炎症性腸疾患センター、インド感染症共同研究センター、インド国立コレラおよび腸管感染症研究所等の機関と連携して、複数の共同研究・国際共同研究を開始する。 ③センターの専任教員においては、科研費及び科研費以外の外部資金に積極的に申請し、自己資金の獲得を目指す。	(8-1) (8-2) ①本センターとしての研究体制・活動体制の基盤を構築するため、また各ユニットの連携を強化するため、特任准教授(9月着任)及び特任助教(7月着任)を総括研究管理部門に採用した。各ユニットの連携を図るため、後述するキックオフシンポジウムの開催とホームページの開設を総括研究管理部門が中心となり行った。 ②炎症性腸疾患センター、インド感染症共同研究センター、及びインド国立細菌感染症研究所(令和6年6月に名称変更)と連携して、複数の共同研究・国際共同研究を実施した。なお、これらの研究活動は、次年度以降も継続して実施する。 ③専任教員(特任准教授、特任助教)が科研費に申請するなど、積極的に外部資金の獲得を目指した。
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
<b>④管理運営領域</b>	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
<b>⑤センター・機構等業務</b>	関連する 中期計画の番号	センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	①本センターの総括研究管理部門が中心となり、腸研究に関するリソースの統合を目的としたシンポジウムを開催する。 ②アウトリーチの一環として、本センターの活動等に関する情報を発信するため、ホームページを開設する。 ③医歯薬学総合研究科との連携によって、学生の研究指導に協力する。 ④カウンターパートのインド国立コレラおよび腸管感染症研究所と連携し、学生や若手研究者の育成を目的とした研修・インターンシッププログラムの開発について協議する。	①2月3日に本センター総括研究管理部門が中心となり、教員・学生へ本センターの研究内容の周知、及び腸研究に関する学内リソースの統合を目的としたキックオフシンポジウムを開催した。 ②アウトリーチ活動として、12月と1月に広島市立基町高等学校で出前講義を行った。また1月には、本センターに関する情報を逐次発信するためにホームページを開設した。 ③医歯薬学総合研究科との連携によって、博士前期課程の学生などの研究指導に協力した。 ④7月と3月にカウンターパートのインド国立細菌感染症研究所を訪問し、今後の国際共同研究に関する打合せを行うとともに、日印両国の学生や若手研究者の交流に関する意見交換を行った。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。